

写真展 懐かしき東北・美しき東北

奥会津文化施設連携展

主催：只見川電源流域振興協議会

共催：柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町・檜枝岐村

特別協力：福島県立博物館

後援：福島民報社・福島民友新聞社・株式会社ラジオ福島・株式会社エフエム福島
株式会社エフエム会津・福島テレビ株式会社・福島中央テレビ・福島放送
株式会社テレビユー福島・NHK福島放送局・河北新報社



千葉禎介《雀追い》大雄村狐塚

会期 / 2022年7月22日(金)～10月10日(月・祝)

会場 / 東北電力奥会津水力館「みお里」/金山町

交流・観光拠点施設 喰丸小/昭和村

ただみ・モノとくらしのミュージアム/只見町

奥会津博物館/南会津町 *奥会津博物館のみ8月31日(水)まで開催。

尾瀬写真美術館/檜枝岐村



東日本大震災の大きな被害を受けた東北。その被害だけではなく、本来の東北の魅力をさまざまな手法、視点、年代の写真家による優れた写真作品で広く世界に紹介する展覧会が国際交流基金によって行われました。2012年春から始まった世界各地での巡回展は、2014年の福島県立博物館、遠野市立博物館での一時帰郷展を挟んで43カ国74会場を巡回、2020年に終了し、2021年国際交流基金のご厚意により10作家123点の作品が福島県立博物館に寄贈されました。これらの作品は多面的な東北をテーマにしているとともに、日本を代表する写真作品の優れたコレクションでもあります。

今回の展覧会は、奥会津地域の文化施設が連携しこの優れたコレクションを多くの方々にご紹介するものです。世界に発信された東北の魅力を伝える写真作品と各開催施設の展示をあわせてご覧いただき、さらに各施設を巡ることで奥会津の歴史・文化への関心を深めていただければ幸いです。

■関連イベント

記念講演会①「東北と写真・地域と写真」

日時：8月6日(土)13:30～15:30

会場：尾瀬写真美術館(檜枝岐村)

〒967-0500 南会津郡檜枝岐村字左通124-6 TEL/0241-75-2065

講師：飯沢耕太郎(写真評論家)

赤坂憲雄(学習院大学教授)

定員：20名(申込不要・先着順)

記念講演会②「写真と民俗学」

日時：10月8日(土)13:30～15:30

会場：ただみ・モノとくらしのミュージアム(只見町)

〒968-0602 南会津郡只見町大字倉字窪田30 TEL/0241-86-2175

講師：久野俊彦(ただみ・モノとくらしのミュージアム館長)

赤坂憲雄(学習院大学教授)

定員：20名(申込不要・先着順)



●スタンプラリーのご案内

「写真展 なつかしき東北・美しき東北」開催の5会場すべてを観光くださった方に、抽選(※数量限定)で奥会津ならではのプレゼントをお贈りします。5番目に訪れた会場にて押印済みの本パンフレットをご提示いただき、所定の申込書に必要事項を記載の上、お申込ください。(※奥会津博物館は、会期終了後も10/10までスタンプラリーは継続して行います。)



東北電力奥会津水力館「みお里」/金山町
交流・観光拠点施設 喰丸小/昭和村
ただみ・モノとくらしのミュージアム/只見町
奥会津博物館/南会津町
尾瀬写真美術館/檜枝岐村

お問合せ先：只見川電源流域振興協議会事務局
〒968-0006 大沼郡金山町大字中川字上居平933(東北電力奥会津水力館 みお里内)
TEL/0241-42-7125.FAX/0241-42-7127
Email/tdrsk@okuaizu.net
https://okuaizu.net



※このパンフレットは、電源立地地域対策交付金により作成されています。



田附勝【鹿撃たれる】岩手県釜石市 2009年11月

田附勝 Masaru Tatsuki

<田附勝プロフィール>

1974年富山県生まれ。1995年よりフリーランス。1998年～2007年にかけて派手なイルミネーションとペイントでデコレーションしたデコトラの撮影を続け、2007年に『DECOTORA』(リトルモア)刊行。岩手県出身のデコトラドライバーから鹿狩りをする人を紹介してもらったことをきっかけに東北に通い始め、東北の風土、自然、生活、人と深く交わりマタギ、漁業関係者などの撮影を続け東北のエネルギーを表現している。祭礼、民間信仰にも関心は広がり、2011年の東日本大震災後に写真集『東北』(リトルモア)として結実、2012年第37回木村伊兵衛賞を受賞。主な写真集に、『その血はまだ赤いのか』(Slant、2012年)『KURAGARI』(SUPER BOOKS、2013年)『「おわり。」』(SUPER BOOKS、2014年)『魚人』(T&M projects、2015年)など。2012年からは各地の発掘現場、博物館収蔵庫で縄文土器のかけらを撮影しとして使われていた新聞紙などと一緒に撮影、時の集積を見つめる制作に取り組んでいる。2020年には写真集『KAKERA』(T&M projects)を刊行。

■ 尾瀬写真美術館 (檜枝岐村)

国内外の山岳写真、自然風景を撮り続け、海外でも評価されている写真家・白旗史朗氏が尾瀬で撮影した写真を常設展示。1階吹き抜けた三条ノ滝大瀑布を撮影した高さ9m、幅15mの作品は圧倒的迫力。2階には白旗氏が尾瀬の四季を捉えた作品などを展示しています。その他、尾瀬の写真や絵などの企画展も開催。尾瀬の魅力を堪能できる美術館です。



- 開館時間/9:00～17:00
- 休館日/毎週水曜日(7/22～8/22は無休)
- 入館料/無料
- 駐車場/普通車30台
- 住所/〒967-0500 南会津郡檜枝岐村字左通124-6
- TEL/0241-75-2065

